

ふれデミツクカフェ @KRP with 立命館大学



第28回

線虫 *C.elegans* を使ってどこまでできるか？ —化学物質の毒性評価への利用—

2024年11月12日（火）16:30～17:30

講師からのコメント

線虫は、体長約1mmの線形の生物です。ヒトとは形態上全く似ていないにも関わらず、ヒトが有する遺伝子と相同な遺伝子を多くもっています。近年、「実験動物を用いずに化学物質の毒性を評価する」ということが課題となっています。そこで、モデル生物として線虫が注目されています。線虫を使ってどこまでできるか、私たちがこれまでに行ってきたネオニコチノイド農薬の毒性評価を例にご紹介いたします。

会場・定員

現地会場
30名

京都リサーチパーク
東地区1号館
2階サイエンス
センタークラブ

オンライン
25名

ZOOM



参加費

無料

対象

ウェルネス・ヘルスケア、
モノづくり領域などの企業や研究者の方々

＼今回はこんな方におススメ！／

- ・医薬品、食品、化粧品業界等で動物を用いない化学物質の毒性評価にご興味のある方

申込

QRコードから申込ください
締切：2024年11月10日（日）



講師紹介



坂口 裕子 先生

立命館大学
薬学部 専任講師

2010年4月 京都第一赤十字病院 薬剤師
10年間勤務し、その間で
2019年に博士(薬学)を取得
2020年4月 立命館大学薬学部
医療薬学研究室 助教
2023年4月 立命館大学薬学部
専任講師（至 現在）
線虫を用いて、バイオアッセイや遺伝子解析
さらにはメタボロミクスを行い、総合的な毒性
評価を目指している。

お問い合わせ

- 主催：京都リサーチパーク株式会社 イノベーションデザイン部（藤井・小竹）
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 MAIL: krp-id@krp.co.jp
- 協力：立命館大学